allcinema

ジョルジュ・バタイユ　ママン（2004）

MA MERE

メディア 映画
ジャンル ドラマ　ロマンス　エロティック
製作国　フランス
色彩　Color
時間　110分
初公開日 2006/07/01
公開情報 アット エンタテインメント
映倫　R-18

【キャッチコピー】
うつくしい人は堕落を選んだ――。

【解説】
　20世紀を代表する思想家ジョルジュ・バタイユの遺作『聖なる神』三部作の『わが母』を、「ピアニスト」のイザベル・ユペールと「ドリーマーズ」のルイ・ガレル主演で映画化した問題作。美しい母と息子のスキャンダラスな関係がスリリングに描かれてゆく。監督は「ＮＯＶＯ／ノボ」の脚本を手掛け、これが監督２作目のクリストフ・オノレ。
　自堕落な父親と２人暮らしをしている17歳の少年ピエール。ある日彼は、崇拝する美しい母に会うため、スペインのカナリア諸島を訪れる。愛する母と２人だけの時を過ごすことに胸を熱くするピエール。しかし、その母にはピエールが思い描いてきた顔とは別の顔があった。次第に自らの不道徳な欲望を露わにしていく母に、ピエールは不安と恐怖を覚えながらも、いつしかエロスと暴力の危険な世界へと引き寄せられていくのだった。

【クレジット】

監督	クリストフ・オノレ	Christophe Honore	
製作	パウロ・ブランコ	Paulo Branco	
	ベルナール＝アンリ・レヴィ	Bernard-Henri Levy	
原作	ジョルジュ・バタイユ	Georges Bataille	『わが母』（二見書房刊『聖なる神　三部作』所収）
脚本	クリストフ・オノレ	Christophe Honore	
撮影	エレーヌ・ルヴァール	Helene Louvart	
プロダクションデザイン	ローラン・アレール	Laurent Allaire	
出演	イザベル・ユペール	Isabelle Huppert	
	ルイ・ガレル	Louis Garrel	
	エマ・ドゥ・コーヌ	Emma de Caunes	
	ジョアンナ・プレス	Joana Preiss	
	ジャン＝バティスト・モンタギュ	Jean-Baptiste Montagut	
	ドミニク・レイモン	Dominique Reymond	
	オリヴィエ・ラブルダン	Olivier Rabourdin	

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。　Copyright (C) 2026 Stingray. All Rights Reserved.